

# 第1はなの里 事業計画

## ■ 特別養護老人ホーム (50床) ■

基本方針	<p>法人の基本理念である「明るく、清潔な施設」「温かく、思いやりのある施設」「家族、地域に開かれた施設」「安心、安全で堅実な施設」に基づき、利用者一人ひとりの生き方（価値観）が尊重される日常生活を支援し、安心かつ満足して暮らしていただくことのできる施設運営に努めます。</p>
運営の目標	<p><b>(1) 利用者本位のサービス提供</b></p> <p>① 重度化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士の有資格者増にて重度者に対するケアのさらなる充実を図ります。</li> <li>・褥瘡マネジメント加算を算定することにより多職種連携にての対応を推進します。</li> </ul> <p>② リスクマネジメントの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「身体拘束廃止」、「事故防止」、「虐待防止」、「感染症予防及びまん延の防止」、「苦情受付」など、各種マニュアルに基づいた対策を徹底しリスク管理に努めます。このため、新人研修等においては、必ずこれらの内容をテーマとします。</li> <li>また、「身体拘束廃止、事故・虐待防止委員会」を通じ、リスク管理の重要性を周知徹底し、身体拘束廃止未実施減算に該当しないよう適切な体制を維持します。</li> </ul> <p>③ ケアマネジメント体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別サービス計画（施設サービス計画、栄養ケア計画、個別機能訓練計画等）を多職種協働で策定し、計画に沿ったサービスを提供します。</li> <li>・各個別サービス計画について評価、モニタリングを適切に実施し、個別ケアの充実を図ります。</li> <li>・特養3施設が共通認識をもってケアマネジメントが展開できるよう、定期的に3施設合同の検討会を開催し、相談援助技術の向上を図ります。</li> </ul> <p>④ 守秘義務の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の管理やプライバシーの尊重を徹底します。このため、コンプライアンス委員会を兼ねた幹部会議やケア会議等においては、常にこのことを検証し注意喚起していきます。</li> </ul> <p>⑤ 楽しみや変化のある生活の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に応じた年間行事や外出支援を実施します。</li> <li>・週1回の音楽療法やボランティア等、外部資源を活用します。</li> <li>・定期的に、また季節に応じて選択食や行事食を取り入れ、食に変化をもたらします。</li> </ul> <p>⑥ 看取り介護の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託医や協力病院と協働し、利用者及び家族が望まれる終末期ケアを提供します。</li> <li>・看取りケア後に職員アンケートにて振り返りを行い、終末期ケアのさらなる充実を図ります。</li> </ul>

**(2) 職員の資質向上（研修体制の充実）**

- ・新人職員研修、階層別研修は全員参加とし、全体研修への積極的な参加も促します。
- ・介護支援専門員、介護福祉士資格の取得奨励のため、費用の貸付や講義受講日を勤務扱いとするなど、働きながら学べる体制を確保します。また、法人の取り組みとして、実務者研修実施機関との提携により、講義会場として法人施設を提供し受講の利便を図ります。
- ・県社協主催の生涯研修等外部研修を活用し資質向上を図ります。
- ・異職場体験研修を通じて見聞や視野を広げ、自身の業務を振り返る機会とします。

**(3) 安定的経営の推進****①安定した収入の確保**

- ・新規入所者の受け入れは、前年度に引き続き、重度要介護者(要介護4・5)を中心とし、日常生活継続支援加算の算定を継続します。

**②施設・設備の更新、改善**

- ・法人の構想、計画に沿って、施設機能維持のための計画的な機器の改修、更新や建物の維持管理に努めます。

**③働きやすい職場環境の構築**

- ・適正な人員配置と効率的な業務遂行を推進します。
- ・法人が掲げる「働き方改革」に基づき、積極的な休暇の取得、各種会議の勤務時間内開催、時間外勤務ゼロに向けて取り組みます。

**④防災、防犯対策の推進**

- ・防災訓練に夜間地震想定訓練や風水害対策等を盛り込み、防災訓練を充実させます。
- ・防犯対策について、年1回の訓練を実施します。

**⑤人材の確保**

- ・職員からの人材情報を重視、活用し、人材確保に努めます。
- ・実習生受け入れを通して、優秀な人材の発掘、確保につなげます。
- ・職場外での職員交流の場や機会を設けることにより、良好な人間関係を築くとともに、職員の孤立を防ぎ職場定着につなげます。

**⑥特養3施設の連携**

- ・施設サービスの統一を図り、より効果的な運営を行うために、特養3施設は常に連携を保ち、統合幹部会議、施設長会議、ナース長会議、介護支援専門員会議、その他必要な会議を定期的または随時開催します。
- ・入所待機者情報を共有し、地域ニーズを常に把握することにより、スムーズな入所につなげ互いの効率的な運営を図ります。

**(4) 地域連携と地域貢献**

- ・地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、他の福祉事業所等との連携を図り、的確なニーズ把握に努めます。
- ・法人が取り組む地域貢献活動の他にも、施設独自で取り組み可能な活動を継続していきます。福祉職場体験や教育機関の要請に対し、施設や職員の特性を活用して、福祉教育の場の提供や講師派遣に協力します。また、各種実習生の受け入れについても積極的に協力します。

年間行事予定	<p>&lt;施設全体行事&gt;          デイルーム等を活用し、季節や風習に因んだ行事に取り組みます。また、定期的に季節に応じた行事食を提供します。          (夏祭り、敬老祝賀会、クリスマス&amp;年忘れ会、新年祝賀会等)</p> <p>&lt;フロアー行事&gt;          全体行事以外にも、フロアーごとで季節の行事に取り組みます。          (お花見、七夕祭り、個別外出支援、運動会、節分、ひな祭り等)</p> <p>&lt;その他行事&gt;          音楽療法、お誕生会、保育・幼稚園児来訪、ボランティアによる演芸等</p>
実習生受入予定	<p>社会福祉法人、福祉施設にとっては、福祉人材の育成も社会的使命と考え、その設備や実習指導資格者、職員等の機能を活用し、各種養成機関等の要請に応じ実習生の受け入れを継続します。</p> <p>・介護員養成実習・介護福祉士養成実習・教員免許の介護現場実習・職場体験学習</p>
職員研修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対人援助に関する研修を中心に、職員の資質向上を目的とする外部研修への参加を推進します。</li> <li>2. サービスの質の向上を目指し、法人全体研修ならびに内部研修に取り組みます。</li> <li>3. 施設内研修として、接遇やケアを中心とした新人研修をはじめ、専門性の向上を目指す階層別研修に取り組みます。</li> <li>4. 初任者研修や実務者研修などの資格取得に向けた啓発や助言、指導、経費貸付、勤務調整等により、職員の資格取得を支援します。</li> <li>5. 3資格（介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員資格）を新たに取得した職員に対し、奨励金を交付し取得を奨励します。</li> </ol>

## ■ ショートステイ (20床) ■

基本方針	<p>法人の基本理念に基づき、在宅生活を支える介護サービスとして、安全な環境の下、利用者の生活習慣に沿ったケアを実施し、快適に楽しく利用いただける雰囲気づくりを目指します。また、家族との連携を大切にし、家族の介護負担軽減や家族不在時の介護の肩代わり等、家族の生活も支援しながら利用者本人のニーズに沿ったサービスを提供します。</p>
運営の目標	<p>(1) 利用者本位のサービス提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自宅等で生活されている要介護等状態の方に、介護保険法で定める(介護予防)短期入所生活介護サービスを提供し、心身機能の自立と日常生活の自律を支援します。</li> <li>・ 余暇活動の充実、季節感が味わえる行事等への参加など活動的に過ごしていただき、精神面、身体面での機能維持を目的とした支援を行ないます。</li> <li>・ 家族、関係機関との連携を図り、安心して在宅生活が送れるよう関わらせていただきます。</li> <li>・ 地域の居宅介護支援事業所に空き情報を常に提供し、ケアマネジャーによる申し込みをより容易にすることで、地域ニーズに対応していきます。</li> </ul> <p>(2) 緊急受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のケアマネジャーや地域包括支援センターと連携を密にし、居宅サービス計画にない緊急ショートステイを積極的に受け入れる他、家族の急病等、家庭の事情により緊急に保護を要する要援護者を早急に受け入れます。</li> </ul> <p>(3) 安定的経営の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特養の併設施設として、本体施設同様に経営基盤の強化と健全経営を推進します。</li> <li>・ 看護体制加算Ⅲ・Ⅳを引き続き算定できるよう要介護3以上の方を中心に受け入れます。</li> </ul> <p>(4) 稼働率の維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特養の入院、退所枠を含むショートステイ稼働率の目標を毎月93%以上、年間平均94%以上とします。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(平成31年2月末までの実績稼働率 93.9%)</p>
年間行事予定	<p>特養との一体事業所につき特養行事に準じる</p>
職員研修	<p>特養との一体配置につき特養に同じ</p>

## ■ 老人デイサービス (40名) ■

基本方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者に在宅生活を維持・継続していただくため、介護支援専門員と連携して、利用者や家族の思いを大切にされた支援を行い、利用者の心身機能の維持、生活の質の向上、認知症の予防並びに家族の介護負担の軽減を図ります。</li> <li>2. 職員が働きやすい環境を整えるとともに、無駄を省いた効率的な運営を目指します。また、職員の介護知識や技術の向上・育成に努めて専門性を高め、サービスの質の向上を図ります。</li> </ol>
運営の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の自主性を尊重しながら、一人ひとりに合った支援を行い、信頼と安心のサービス提供に努めます。</li> <li>2. 利用者や家族のニーズを十分に踏まえたサービスの提供を行います。 また、各居宅介護支援事業所と連携を行い、新規利用者の受け入れを図ります。</li> <li>3. 利用者の心身機能の維持・向上に努めるために、新たに音楽療法や簡易な機器を使った運動療法を取り入れていきます。</li> <li>4. 月平均 650 名以上(平成 30 年度は月平均 598 名)の利用者を目標とし、経営の基盤づくりに取り組みます。</li> <li>5. 職員が働きやすい職場環境の整備に努めます。</li> </ol>
年間行事予定	<p>季節に合わせた行事に取り組み、時には地域のボランティアに協力を要請して利用者同士や外部の方との交流を図っていただく機会を提供します。</p> <p>【 夏祭り、敬老祝賀会、クリスマス&amp;年忘れ会、新年祝賀会 】</p> <p>季節を感じながら利用者間や職員と交流を図っていただく機会を提供します。利用者を楽しみや生きがいを感じていただけるような行事を企画します。</p> <p>【 校外見学、夏祭り、運動会、クリスマス会、尺八演奏、ボランティア活動 】</p>
実習生受入予定	<p>各種養成機関等の要請に応じ実習生の受け入れを継続します。</p> <p>・介護員養成実習 ・社会福祉士養成実習 ・職場体験学習</p>
職員研修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員の資質向上を目的とした外部研修等への参加を推進します。また、職員の資格取得を支援するため、啓発や助言、指導、勤務調整等を行います。</li> <li>2. 通所介護事業所に従事する職員として、必要とされる研修を受講します。</li> </ol>

## ■ 居宅介護支援事業所 ■

基本方針	利用者・家族の方々や地域の人々に信頼され期待される、社会的評価の高い事業所となることを方針とします。
運営の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要支援・要介護状態の方々が必要な限り自立して居宅で生活できるように、心身の状態や環境に応じた適切で中立・公正な介護サービスが提供されるよう配慮し、専門性に基づいた事業運営を行います。</li> <li>・ 特定事業所加算Ⅱ（400単位）の特定事業所加算取得事業所として積極的に支援困難ケースを受け入れるため、常に名張市地域包括支援センターとの連携を図っていきます。</li> <li>・ 居宅介護支援事業所第2はなの里和みとの連携を図りながら、事例検討会や情報の交換を行い、相乗効果が発揮できるように努めます。</li> <li>・ 特定事業所加算の算定基準が満たせる体制が常に確保できることを目標とします。</li> </ul>
年間行事予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域貢献を見据えた催しを年1回以上開催</li> <li>・ 各地域の高齢者学級に積極的に参加（蔵持・薦原地区）</li> <li>・ 第2圏域のサロンへ積極的に参加</li> <li>・ 介護支援専門員実務研修 「実習生の受け入れ」（今年度1名）</li> <li>・ 異職場体験受け入れ</li> </ul>
職員研修	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 利用者に関する情報・サービス提供に当たっての留意事項の伝達等を目的とした会議を週1回以上開催</li> <li>② 名張市主催の主任介護支援専門員研修、会議</li> <li>③ 三重県主催の主任介護支援専門員新任研修及び更新研修</li> <li>④ 介護支援専門員実務従事者現任研修</li> <li>⑤ 名張市地域包括支援センター主催の介護支援専門員研修</li> <li>⑥ 名張市福祉子ども部介護・高齢支援室主催の事業所連絡会会議、研修</li> <li>⑦ 名張市・伊賀市主催の多職種連携研修</li> <li>⑧ 他法人との介護支援専門員定例会及び事例検討会</li> <li>⑨ 三重県・県社会福祉協議会等主催の各種研修会</li> <li>⑩ 法人内研修</li> <li>⑪ 名張市生活圏域による会議、研修</li> <li>⑫ その他介護支援専門員の資質向上に資する研修</li> </ol> <p>法人内で事例検討会（2ヶ月に1回）を主催し、法人内事業所全体の資質の向上を目指します。</p>

## ■ ケアハウス (定員 20 名) ■

基本方針	<p>ケアハウス（軽費老人ホーム）は、自主性を尊重し、明るく心豊かな生活が過ごせるため相談・助言等の実施、食事・入浴設備を提供します。また疾病・災害等緊急時への対応、地域包括・居宅サービス事業所との情報交換、余暇活動への支援等、有する能力に応じ自立した尊厳ある日常生活を営むため万全を期します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活課題や身体状況に応じた支援を提供します。</li> <li>2. 健康で活動的な生活が営まれるための支援を行います。</li> <li>3. 入居者間の秩序の維持や円満な関係が築けるための環境を構築します。</li> <li>4. ゲストルームの活用を図り可能な限り空室を無くします。</li> <li>5. 経費については無駄を省き効率的な執行を心掛け安定した運営を図ります。</li> <li>6. 地域の社会資源として開かれた施設作りと社会貢献に取り組みます。</li> </ol>
運営の目標	<p>人・自然・文化を基調に</p> <p>ア 生き甲斐を感じ、充実した生活を営む事が出来るために支援します。</p> <p>イ 健康で豊かな生活が維持できる仕組み作りを進めます。</p> <p>ウ 環境の整備を行い、協調・思いやりを持ち、信頼関係を深め、 『互いに感謝の気持ちを醸し出す』雰囲気づくりに努めます。</p>
主な年間行事予定	<p><u>継続事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 買い物ツアー・音楽療法・散歩・体操・福祉園芸・生け花・プラモデル制作・落語・演劇等楽しい日常生活を支援するため趣味・趣向の場を提供します。</li> <li>・ ジグソーパズル・オセロゲーム・ボールゲーム・読書・折り紙・手芸等を通じ入居者間同士の親睦交流を図ります。また、介護予防に視点を置いた体操を実施します。</li> </ul> <p><u>月別行事</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節（春・秋）の郊外ドライブ・食事ツアー（名張の郷土食・グルメ巡り）等の外出を計画します。</li> <li>・ 健康診断の受診・避難訓練の実施、お茶会・親睦パーティー・家族との交流会等を実施します。</li> <li>・ 環境美化活動・共用部分（主に食堂）の清掃を月1回実施することにより、美化意識・協調性の向上を図ります。</li> </ul>
職員研修	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 三重県、名張市、県・市社協、老施協主催の各種研修会・講習会に積極的に参加、又は受講するように努めます。</li> <li>② 施設内外の研修・職場体験その他各職種の資質向上に関する研修を受講します。</li> <li>③ 他職種間職員との情報交換の実施及び定期的に連絡調整会議を開催します。</li> </ol>